

6 大分大学大学院教育学研究科修士論文審査及び最終試験に関する評価基準に関する内規

平成21年12月9日制定

(趣 旨)

第1条 この内規は、大分大学大学院教育学研究科規程（平成16年規程第6号）第9条第3項の規定に基づき、大分大学大学院教育学研究科修士論文審査及び最終試験に係る基準に関し、必要な事項を定める。

(修士論文の審査基準)

第2条 修士論文の審査については、原則として次の各号に掲げる基準により実施するものとする。

- (1) 研究テーマの設定の適切さ
- (2) 先行研究に対する、当該専修から見た調査・検討の充分性
- (3) 研究結果の、当該専修にとっての新規性・独自性
- (4) 研究方法の的確さと考察の緻密さ
- (5) 論文の構成の適切さと、論述の進め方の明快さ

2 前項の修士論文に代替した作品及び論文又は演奏及び論文の審査については、前項の基準を準用するものとする。

(最終試験の審査基準)

第3条 最終試験は、修士論文提出者について口頭又は筆答により行い、最終試験の審査については、原則として次の各号に掲げる基準により実施するものとする。

- (1) 発表に対する準備の充分性
- (2) 研究の方法・成果などの発表の明快さ
- (3) 研究の目的や意義の正しい理解
- (4) 口頭又は筆答試問に対する応答の的確さ

(雑 則)

第4条 この内規に定めるもののほか、必要な事項については、研究科委員会の議を経て別に定める。

この内規は、平成21年12月9日から施行する。

教育学研究科の学位取得までのプロセス

平成25年10月9日 教育学研究科承認

1. 1年次

4月

- ・ガイダンス
- ・主指導教員と副指導教員の決定
主指導教員は1名、副指導教員は1名以上とする。
副指導教員は、主指導教員を補佐する。
主指導教員と副指導教員で、研究指導のうち、実技指導と論文指導を分担してもよい。
- ・指導教員との研究計画打ち合わせ

4月以降

- ・研究指導
研究の過程での主指導教員・副指導教員の変更も認める。

2. 2年次

4月末まで

- ・修士論文題目の決定

5～7月

- ・「修士論文完成に向けた研究計画書」の作成

7～10月

- ・修士論文中間発表会（中間報告会）
（基本的には「修士論文完成に向けた研究計画書」に基づいて発表）

11月以降

- ・修士論文作成の最終段階

1月末までに

- ・修士論文完成
- ・修士論文および修士論文要旨の提出

2月

- ・修士論文発表会
- ・修士論文最終審査

3月

- ・学位（修士）の取得

* 9月修了，長期履修制度利用の場合は上記に準ずる。

修士論文完成に向けた研究計画書

1. これまでの取組み

2. 修士論文の進捗状況

3. 今後の取組み

修士論文題目届

平成 年 月 日

大分大学大学院教育学研究科長 殿

専攻 _____ コース
専修 _____

学籍番号 _____ 氏名 _____ 印

修士論文題目を下記のとおりお届けします。

記

論文題目

指導教員 _____ 印

指導教員 _____ 印

修士論文題目変更届

平成 年 月 日

大分大学大学院教育学研究科長 殿

専攻 _____ コース
専修 _____

学籍番号 _____ 氏名 _____ 印

修士論文題目を下記のとおり変更しますのでお届けします。

記

論文題目

新	
旧	

指導教員 _____ 印

指導教員 _____ 印

修士論文等の作成・提出について

修士論文等の作成・提出要領は次のとおりとする。

1 論文提出締切日時

平成〇〇年1月31日（〇）17時

2 論文提出先

教育福祉科学部学務係

3 提出方法等

修士論文1編に、学位審査願及び修士論文要旨1部を添えて学務係に提出すること。

なお、作品又は演奏がある場合は、指導教員の指示に従い、この場合の論文は学務係に提出すること。4月に提出した修士論文題目届の題目名に変更のある場合は、翌年度の1月末に修士論文題目変更届を修士論文とともに提出してください。学位審査願と修士論文題目変更届は学務係にあります。

4 作成要領

- (1) 修士論文の規格及び装丁等は、専修又は指導教員の指示に従い作成すること。
- (2) 修士論文の表紙には、修士論文様式の事項を記載すること。
- (3) 修士論文の副本を必要とする場合があるので、指導教員の指示に従い必要部数を指導教員へ提出すること。
- (4) 修士論文要旨の規格については、指導教員の指示に従い、別紙書式で作成すること。

修 士 論 文

修士論文題目 ○○○○

平成○○年度入学
大分大学大学院教育学研究科修士課程
○○専攻○○^{コース}専修

氏 名 ○ ○ ○ ○

指導教員 ○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○

平成 年 月 日 受理

注1 修士論文の規格及び装丁は、専修又は指導教員の指示に従い作成すること。

注2 作品又は演奏がある場合は、その旨を記すこと。

※副論文を提出する場合

- ・副論文の表紙

修士論文（副論文）

以下「修士論文様式」に準じる。

修士論文要旨の体裁及び書式について

修士論文要旨の体裁及び書式を次のとおり指定します。

1 用 紙

J I S 規格A4版縦を使用すること。

2 行・字数

横書き，30行とし，1行目から9行目までは例示にしたがって題目等（修士論文題目，副題，専攻・専修・コース名，氏名，キーワード）にあて，本文は10行目からとすること。

本文は，1ページあたり40字×30行とし，2ページ以内とすること。

文中の句読点は「。」及び「，」とすること。

3 余 白

余白は上25mm，下23mm，左35mm，右23mmとすること。

4 体 裁

パソコンを使用し，印刷された清書とともに記録媒体（USBメモリ，CD等）を提出すること。

5 題目等の例示

1) 副題のない場合

ソーシャル・サポートの介入に関する基礎的研究

学校教育専攻 学校教育コース
大分 花子

【キーワード】 ソーシャルサポート，主体性尊重サポート，勇気付けサポート
メンタル・ワークロード，学級適応

要旨

〔研究1〕問題：ソーシャル・サポートのストレス緩和については，田中らのグループの一連の実験的研究によってその効果が……

- 注意 ①表題は14ポイントで、専攻・専修・コース名との間を2行空け中央揃えとする。
②専攻名と専修・コース名の間は1字空け、右揃えとする。
③氏名は姓と名の間を空け、右揃えとする。
④キーワードは氏名の下1行空けて、【キーワード】と記し、2文字空け、左揃えとする。2行にわたるときは、1行目の最初のワードに先頭をそろえる。
⑤要旨本文の前の行の左端に 要旨 と書き、次の行1字空けて要旨本文を続ける。要旨本文は10行目から始める。
⑥すべての文字は明朝体とし、表題及び副題を除くすべての文字は10.5ポイントとする。

2) 副題のある場合

自己教育力の育成を目指す授業構成の一考察

—小学校社会科における複線化を中心に—

教科教育専攻 社会科教育専修
大分 小次郎

【キーワード】 自己教育力，授業構成，社会科，複線化

要旨

本研究は、自己教育力の育成のための授業構成を複線化の視点から考察したものである。……

- 注意 ①副題は12ポイントで表題の次の行に中央揃えとし、—○○○○○—とする。
②副題と専攻・専修・コース名との間は1行空ける。
③その他は1) 副題のない場合と同じ。

3) 演奏研究の場合

○○○○ (演奏)
—○○—
教科教育専攻 音楽教育専修 大分 学
【キーワード】
要旨
演奏曲目 (平成○年○月○日, 修了演奏会にて演奏)
作曲者 作品名
本文……

注意 ①主題の次に1字空けて(演奏)を加える。

4) 作曲研究の場合

○○○○ (作品)
—○○—
教科教育専攻 音楽教育専修 大分 学
[中略]
要旨
作品名:○○ 編成:○○ 演奏時間:○○
本文……

注意 ①主題の次に1字空けて(作品)を加える。

5) 作品の場合

絵画・油彩製作(作品)

一心象風景一

教科教育専攻 美術教育専修
大分 学

【キーワード】 絵画, 油彩画, 心象風景, 植物

要旨

題 名『葛の葉のある風景』 大きさ 194.0cm×194.0cmを2枚で1作品 キャ
ンバス, 油彩 自然には, 「自らなる勢い」という意味があるように, 自然はあ
るがままに放っておくと, 人間の手には負えない勢いを示す。繁殖し, やがて朽
ちていく。……

注意 ①主題の次に1字空けて(作品)を加える。

②その他は1), 2)に同じ。

学 位 審 査 願

平成 年 月 日

大分大学大学院教育学研究科長 殿

専攻 _____ コース
専修 _____

学籍番号 _____ 氏名 _____ ㊟

大分大学学位規程及び大分大学大学院教育学研究科規程により、下記修士論文及び修士論文要旨を提出しますので、審査をお願いします。

記

論文題目

指導教員 _____ ㊟

指導教員 _____ ㊟

注) 作品及び論文又は演奏及び論文の場合は、作品名と論文題目又は演奏名と論文題目の両方を記載すること。